



すべての
子どもと家庭を
支える

こどもまんなか 政策 三本柱のご提案

これまでの活動



政治家に届けたい！
子育ての「困りごと」

みらい子育て全国ネットワークでは、2022年4～6月に
かけてアンケート経由で妊婦中～就学中のお子さん
を子育て中の方々の声を集めました。(3371件)。
上の画像は、回答内容のテキスト解析を行った結果。
個別の声や報道情報との結果は、右のQRコードから
ご覧ください。

<h3>1 幼児教育 → 保育</h3> <p>幼児教育・保育については2019年から開始されています。お住まいの地域は、開始によって異なる場合があります。最も懸念は理由は？</p> <table border="1"> <tr><td>待機児童(0歳未満)</td><td>14%</td></tr> <tr><td>保育料の負担</td><td>13%</td></tr> <tr><td>保育者・教員の不足</td><td>47%</td></tr> <tr><td>保育者・教員の待遇</td><td>26%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.1152 (2021/9/2～9/9)</p>	待機児童(0歳未満)	14%	保育料の負担	13%	保育者・教員の不足	47%	保育者・教員の待遇	26%	<h3>2 学童保育 →</h3> <p>待機児童、小の量、児童の経済的状況・父母の就業・職員の待遇など、開始によって異なる場合があります。最も懸念は理由は？</p> <table border="1"> <tr><td>待機児童</td><td>14%</td></tr> <tr><td>職員の不足</td><td>10%</td></tr> <tr><td>職員の待遇・労働環境</td><td>53%</td></tr> <tr><td>保育料の負担</td><td>23%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.2,147 (2021/9/2～9/10)</p>	待機児童	14%	職員の不足	10%	職員の待遇・労働環境	53%	保育料の負担	23%	<h3>3 小中学校 → の教育</h3> <p>小中学校での教育において、何が最も重要だと思いますか？</p> <table border="1"> <tr><td>子どもへの人権教育</td><td>12%</td></tr> <tr><td>教員の人間性・資力の向上</td><td>34%</td></tr> <tr><td>教員の労働環境の改善</td><td>45%</td></tr> <tr><td>校舎・施設整備</td><td>9%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.2,834 (2021/9/8～9/13)</p>	子どもへの人権教育	12%	教員の人間性・資力の向上	34%	教員の労働環境の改善	45%	校舎・施設整備	9%
待機児童(0歳未満)	14%																									
保育料の負担	13%																									
保育者・教員の不足	47%																									
保育者・教員の待遇	26%																									
待機児童	14%																									
職員の不足	10%																									
職員の待遇・労働環境	53%																									
保育料の負担	23%																									
子どもへの人権教育	12%																									
教員の人間性・資力の向上	34%																									
教員の労働環境の改善	45%																									
校舎・施設整備	9%																									
<h3>4 妊娠・出産 → の支援</h3> <p>妊婦・出産に対して必要だと考える支援はありますか？</p> <table border="1"> <tr><td>産後～出産の支援</td><td>44%</td></tr> <tr><td>産前産後の産休・育休</td><td>18%</td></tr> <tr><td>産前産後の産休・育休</td><td>11%</td></tr> <tr><td>産前産後の産休・育休</td><td>27%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.2,166 (2021/9/2～9/9)</p>	産後～出産の支援	44%	産前産後の産休・育休	18%	産前産後の産休・育休	11%	産前産後の産休・育休	27%	<h3>#子育て政策聞いてみた #GoTo 候補者</h3> <p>私が解決してほしいこと</p> <p>私への出展に必要だと考える政策はありますか？</p> <table border="1"> <tr><td>保育園・幼稚園</td><td>4%</td></tr> <tr><td>小学校・中学校</td><td>5%</td></tr> <tr><td>高校</td><td>13%</td></tr> <tr><td>大学・専門学校</td><td>78%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.2,233 (2021/9/8～9/12)</p>	保育園・幼稚園	4%	小学校・中学校	5%	高校	13%	大学・専門学校	78%	<h3>5 子どもの安全</h3> <p>児童の性的虐待、虐待・体罰・性被害、いじめなど児童の不遇、自虐の子どもの人権侵害についてお住まいの地域では、最も懸念するべき問題は？</p> <table border="1"> <tr><td>子どもへの人権教育</td><td>28%</td></tr> <tr><td>子どもへの人権教育</td><td>37%</td></tr> <tr><td>大人への人権教育</td><td>21%</td></tr> <tr><td>児童の権利の向上</td><td>14%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.2,559 (2021/9/8～9/13)</p>	子どもへの人権教育	28%	子どもへの人権教育	37%	大人への人権教育	21%	児童の権利の向上	14%
産後～出産の支援	44%																									
産前産後の産休・育休	18%																									
産前産後の産休・育休	11%																									
産前産後の産休・育休	27%																									
保育園・幼稚園	4%																									
小学校・中学校	5%																									
高校	13%																									
大学・専門学校	78%																									
子どもへの人権教育	28%																									
子どもへの人権教育	37%																									
大人への人権教育	21%																									
児童の権利の向上	14%																									
<h3>7 男性の家庭進出</h3> <p>企業への働き、専業主婦の働き方や、育休の分割取得・再取得など、促進による男性の育休取得率向上は必要だと感じますか？</p> <table border="1"> <tr><td>必要</td><td>38%</td></tr> <tr><td>必要</td><td>13%</td></tr> <tr><td>必要</td><td>40%</td></tr> <tr><td>必要</td><td>9%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.1,166 (2021/9/7～9/15)</p>	必要	38%	必要	13%	必要	40%	必要	9%	<h3>6 子どもの貧困</h3> <p>子どもの7人に1人が相対的貧困の状況にあると聞いています。子どもの貧困対策として何が効果的ですか？</p> <table border="1"> <tr><td>児童福祉の充実</td><td>31%</td></tr> <tr><td>児童福祉(フードバンク)</td><td>7%</td></tr> <tr><td>子どもへの人権教育</td><td>26%</td></tr> <tr><td>児童福祉(フードバンク)</td><td>36%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.1,168 (2021/9/7～9/14)</p>	児童福祉の充実	31%	児童福祉(フードバンク)	7%	子どもへの人権教育	26%	児童福祉(フードバンク)	36%	<h3>子育て費用の負担</h3> <p>児童教育費は、子どもが成人するまでにかかると予想される大きな費用です。最も負担が大きいと感じるものはいつですか？</p> <table border="1"> <tr><td>保育園・幼稚園</td><td>4%</td></tr> <tr><td>小学校・中学校</td><td>5%</td></tr> <tr><td>高校</td><td>13%</td></tr> <tr><td>大学・専門学校</td><td>78%</td></tr> </table> <p>みらい子育て全国ネットワーク Twitterアンケート No.2,233 (2021/9/8～9/12)</p>	保育園・幼稚園	4%	小学校・中学校	5%	高校	13%	大学・専門学校	78%
必要	38%																									
必要	13%																									
必要	40%																									
必要	9%																									
児童福祉の充実	31%																									
児童福祉(フードバンク)	7%																									
子どもへの人権教育	26%																									
児童福祉(フードバンク)	36%																									
保育園・幼稚園	4%																									
小学校・中学校	5%																									
高校	13%																									
大学・専門学校	78%																									



miraco(みらこ)のポリシー

私たちは、

(目的) 「子育て」の概念をアップデート(刷新)し、一人ひとりの生き方を自由に選択し、尊重される社会を実現するために

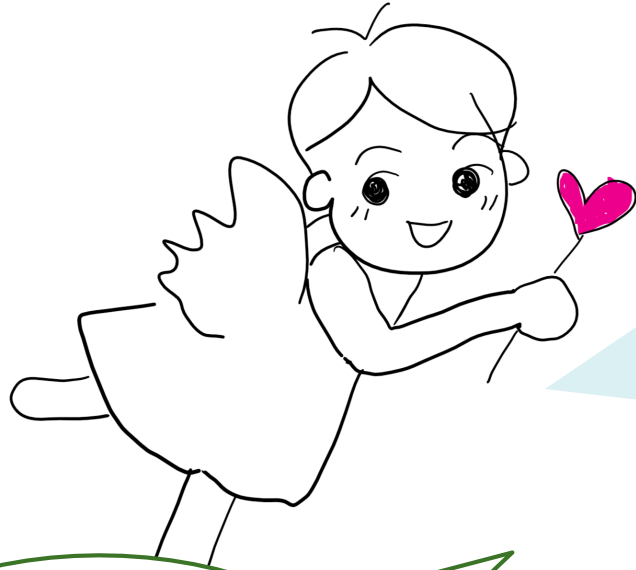
(同志) 子育てに関わる人や興味がある人で、

ルールのおかしさに気付いて声を上げたい人とともに

(活動) 当事者・意思決定者との直接対話を通して意識変革を促し、障壁となっている社会制度や文化を変革します。

Copyright All reserved ©みらい子育て全国ネットワーク





2022年ナウ
miracoは
3つのプロジェクト
の成果は？

待機児童ゼロ
Project

待機児童減少

男の家庭進出
Project

育児介護休業
法改正

#子育て政策聞
いてみたProject

42の選挙で
子育て政策比較

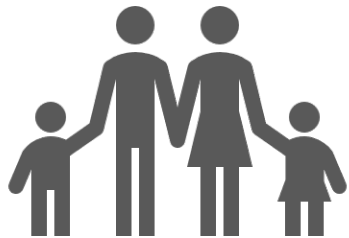
寄せられる「子育てが辛い！」の声

子育て世代が感じている「苦しさ」を、意思決定者や政治家になかなか理解してもらえない



高校は全然
無償化じゃない

奨学金で借金2000万
2人目は無理



中学生は何で大人料金なの？
交通費高すぎる



小1の壁/小3の壁
中一の壁・・・
子育ては壁だらけ

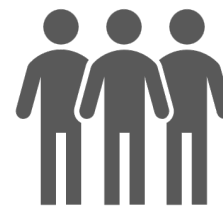


使用済みオムツ
の持ち帰りルール

フリーターの子どもは扶養控除対象
年少者は控除対象外??



無理やり全員参加の
PTAルール



正社員は全国転勤
OKの人



入れない保育園
遠い遠い保育園
兄弟別々の保育園



フルタイムでないと
入れない保育園のルール

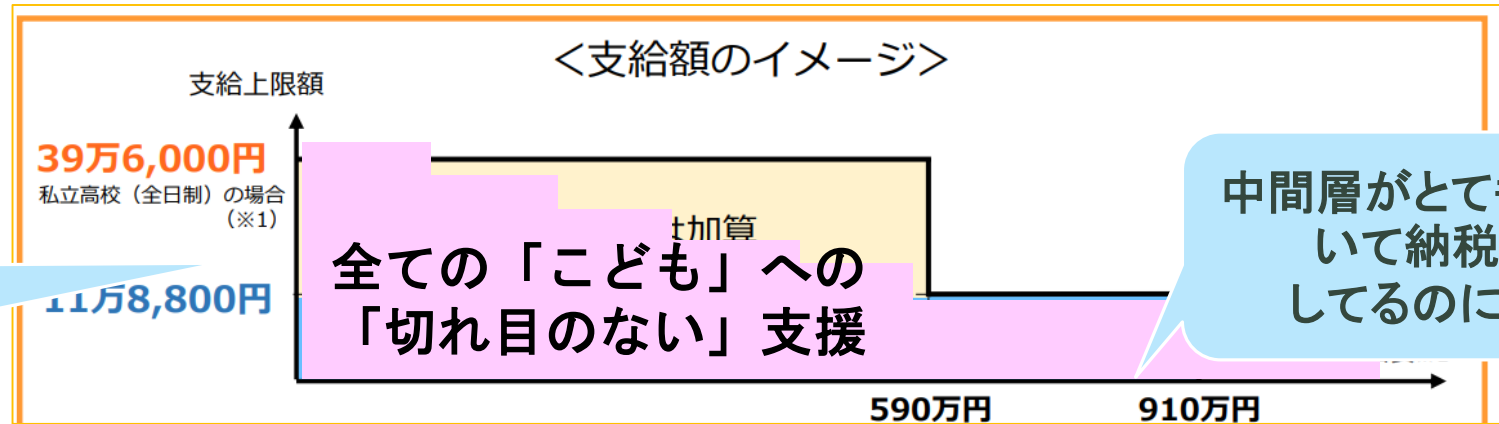
必死に働いたら
所得制限?!

① こども・子育て無償化

(1) 全ての「こども」への現金給付・現物給付の拡充

超少子化こそ最大の国難、ためらわず子どもを生子み・育てられる日本へ
 所得制限のない出産・医療・保育・教育の無償化=「切れ目のない支援」
 所得制限の「崖」をなくし、ニーズに応じた「スロープ」を

児童手当ゼロで
 アルバイトで生計を支え
 学べない困窮高校生



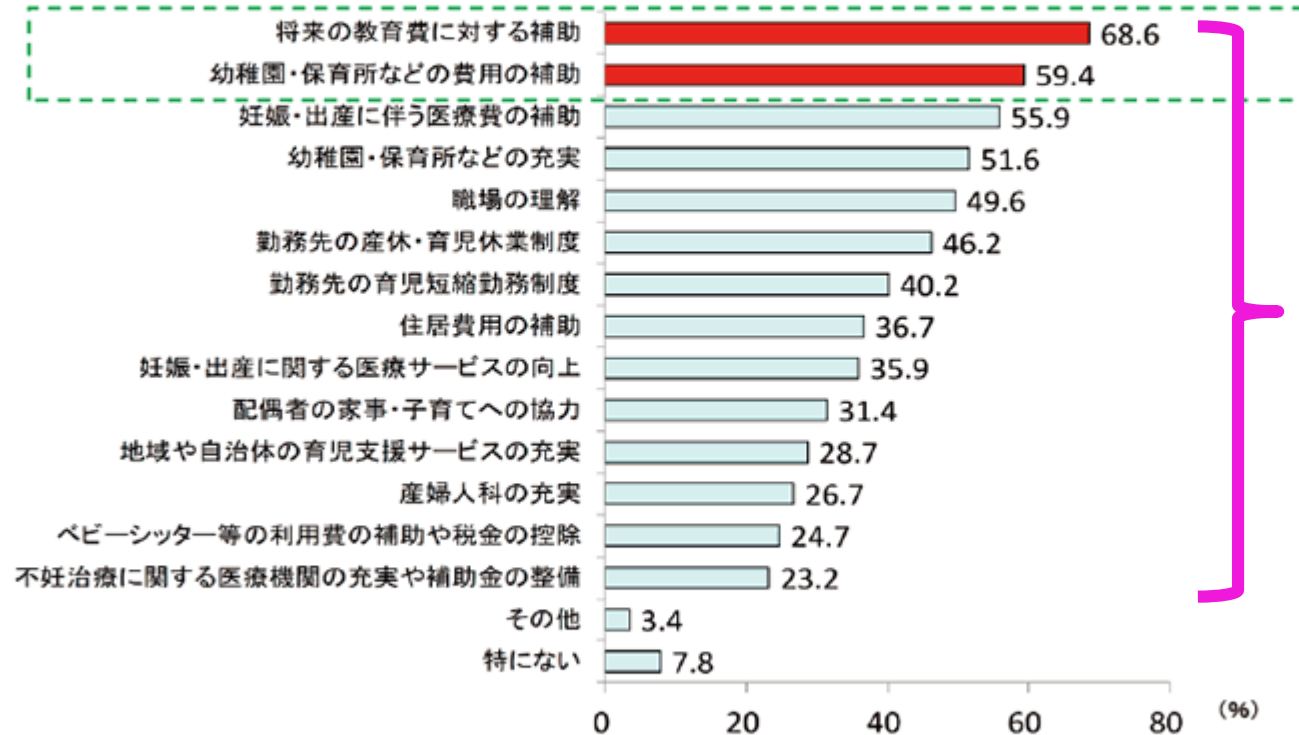
中間層がとても苦しい！働
 いて納税・子育て
 してるのにゼロ支援

(2) 子育て世代の貢献・負担と給付のバランスを全世代型社会保障で

育児も介護も支えあう、いっそうやさしい日本へ

教育費等への補助を求める意見が多い

○「どのようなことがあれば、あなたは（もっと）子供が欲しいと思うと思いますか」との質問に対し（複数回答）、「将来の教育費に対する補助」が68.6%、「幼稚園・保育所などの費用の補助」が59.4%となっている。

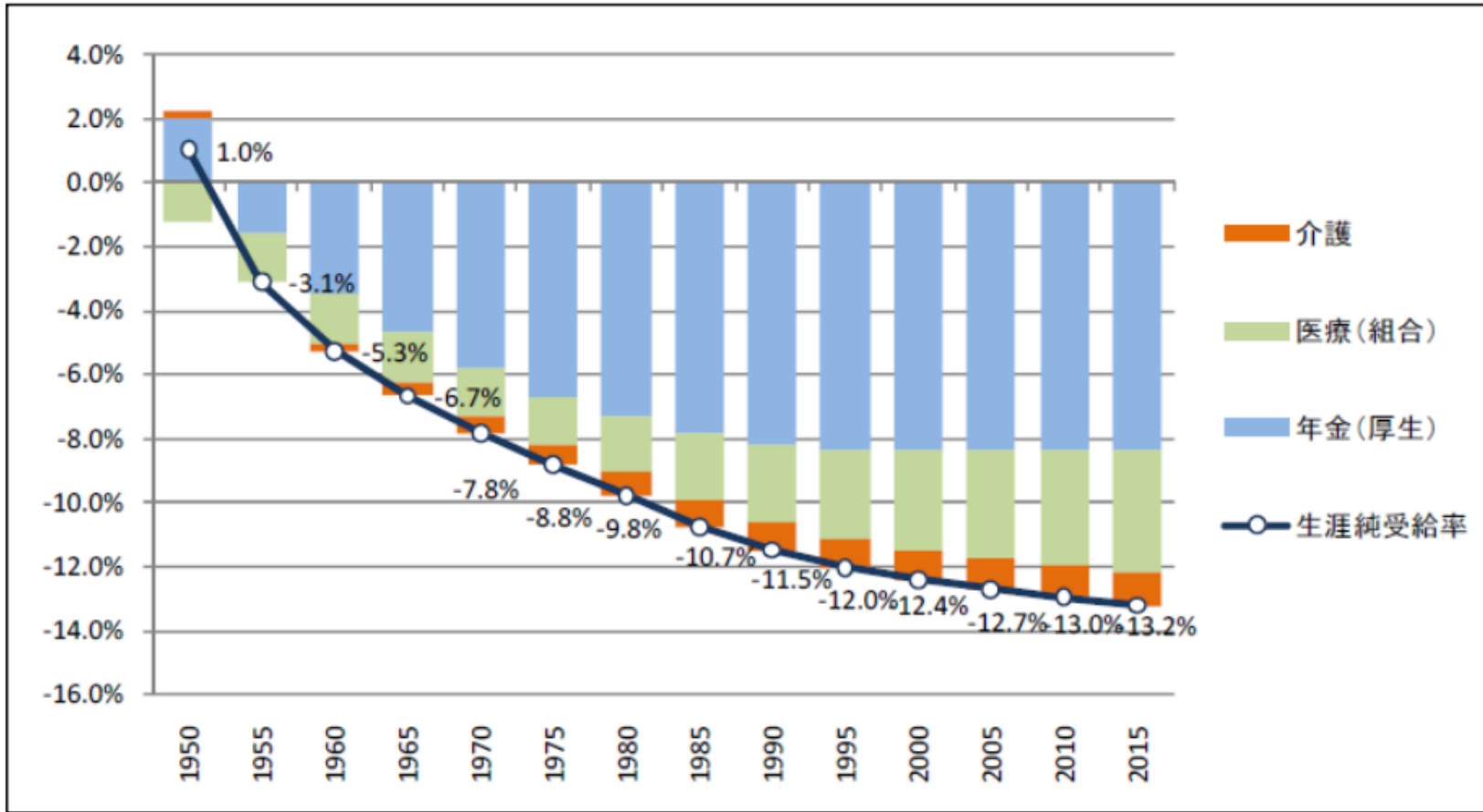


生んで育てる
30代・40代・50代にこそ
聞いてほしい
全部たりない！

資料：内閣府平成26年度「結婚・家族形成に関する意識調査」より作成。

※20代、30代の男女を対象とした調査。

【図1 年金・医療・介護全体における生涯純受給率】



生まれたときから
社会保障「負け組」
 の
 現役世代・こどもたち
 →若い世代を支える
 日本へ

注1：生涯純受給率 = (生涯総受給 - (生涯保険料 + 生涯自己負担)) / 生涯収入

注2：男女計。年金は厚生年金、医療・介護は組合健保の加入者をベースとして算出

島澤・小黑2016より厚労省作成

<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/nts/16e100.html>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000026q7i-att/2r98520000026qc3.pdf>

② 皆保育

希望するみんなが保育園に入れる社会へ

(1) 就労や障害に関係なく、親と子が保育を受けられる権利の担保を

就労時間/勤務形態/フリーランス/賃金 など同じ物差しで入所の点数が付けられている
夫婦で育休を取ると上の子が退園させられるなどの現状を見直し

(2) インクルーシブな保育の実現を

共生社会へむけた、医療的ケア児を含むインクルーシブ保育の理解と早期実現を

(3) 保育の質の担保を確実に

性と人権の教育をベースに、配置基準の見直し、基準、登録、監査の充実や、
オフステッドやDBSなどの仕組みの導入を

③ 皆支援

妊娠・出産から子育てまで、伴走型の支援を

(1) 経済的支援：妊娠・出産・子育ては社会全体で費用負担を

子産み・子育て自己責任は限界。妊娠・出産にかかる費用の無償化を。

(2) 伴走型支援：妊娠から子育て期まで、専門家による伴走型支援を

ハイリスク妊産婦だけでなく、すべての妊産婦対象に、周産期の課題に精通した専門家による1:1の継続的な支援を。「産後パパ休暇」で男性にも孤立育児のリスクが。孤立育児対策は地域のNPO資源等も動員して。

(3) 産前産後ケアの充実：手厚い支援で安全と安心を確保

産後うつなど誰でもリスクあり。産前産後のメンタルサポートや家族支援、生活支援サービス(家事育児支援、一時預かり、ショートステイ等)の拡充と多様なメニューで安心の子育てスタートを。

こども・若者・子育て家庭の ウェルビーイングを実現する社会づくり

1. 生まれる前から子どもの成育環境を守る
2. 妊娠、出産、子育て期の子ども・子育て家庭のウェルビーイングを図る
3. 男性の家庭活躍を保障し促進する
4. 社会的養護・若者(とりわけ若年女性)支援を充実する
5. 実現するための制度設計と必要な財源の確保
→ 予算倍増は+10兆円?!

にっぽん子ども・子育て応援団「アピール」